

一、死亡の場合

二、職務上、負傷ニ因リ業務ニ堪ハスト認め退職ヲ許
可シタル場合

第三條 勤績滿ニテ三年以上ノ者左ノ場合ニ在職中ノ勤勞

ヲ詮衡シ第一條所定額ノ三分ノ一乃至二分ノ一ヲ支給ス

一、年令五十五歳ニ達シタル後退職スル場合

二、病氣其他己コヲ得サルモノト認め退職ヲ許可シタル場合
前項第一號ノ場合ハ勤績年數ヨリ支給額ヲ増ルモノト

アルハシ

第四條 前各條以外ノ者及不都合ノ行為ヨリ解雇処分

セラレタルモノニハ解雇手當ヲ支給セズ

第五條 勤績年數六左ノ時ヨリ起算ス

一、當會社創立即々明治四十三年六月十七日後入職ノ間

二、新ニ入職スル者ハ定備職工トナリタル日

第六條 解雇手當一日分トハ時給八時間分ヲ云フ

附 則